

## クロザピン説明書

●統合失調症に対する薬物治療は、一般的な抗精神病薬の薬物療法により症状が改善し、これまでと同様の生活を送れる人もおられます。しかし、その一方で、複数の抗精神病薬を十分な量、十分な期間服用したにもかかわらず、あるいは副作用のために十分な増量ができず、病気の症状ゆえに、長期にわたる入院を余儀なくされたり、家に引きこもって外に出られなかったりの病状が続き、生活に重度の支障をきたしている方々もおり、そのような状態を「治療抵抗性統合失調症」と呼んでいます。

「治療抵抗性統合失調症」の治療薬であるクロザピンを使用するためにはCPMS(クロザリル®患者モニタリングサービス)への登録を行う必要があります。

●クロザピンによる治療は必ず入院中に開始し、原則として服薬開始後18週間の入院が必要となります。

●退院後は通院治療に移るために、いくつかの条件があります。

●クロザピンによる継続的な治療をするためには、定期的な検査が必要となります。

●白血球数または好中球数が規定値以下になった場合はクロザピンを中止し再開は出来ません。また、クロザピンを中止した場合でも、血液検査が一定期間必要となります。

●クロザピンによる治療をやめても、何ら不利益を被ることはありません。

●クロザピン治療の同意後でも、服薬をやめることはできます。

●治療に関する詳細な説明は神奈川県立精神医療センターで行います。

以上